

熊本県感染症情報 (9月13日～9月19日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

◆◆◆ 感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、突発性発しんの報告が多い ◆◆◆

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	6	3	百日咳	3	2
RSウイルス感染症	5	0	ヘルパンギーナ	30	21
咽頭結膜熱	28	33	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	69	97
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	30	16	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	159	194	流行性角結膜炎 (はやり目)	16	21
水痘	34	29	細菌性髄膜炎	0	2
手足口病	35	52	無菌性髄膜炎	1	1
伝染性紅斑 (りんご病)	35	39	マイコプラズマ肺炎	1	3
突発性発しん	42	41	クラミジア肺炎	0	0

- 感染性胃腸炎は、報告数 159 件(前週報告数 194 件)と減少。
地区別では、人吉、山鹿、八代に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 28 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、報告数 69 件(前週報告数 97 件)と減少。
地区別では、山鹿、八代、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、5歳の 14 件を最多に、1歳以上のすべての年齢層からの報告である。
- 突発性発しんは、報告数 42 件(前週報告数 41 件)と増加。
地区別では、山鹿、菊池、熊本に報告が多くみられる。
年齢別では、6～12ヶ月の 25 件を最多に、5歳以下からの報告である。

RSウイルス 感染症

RSウイルス感染症の報告数は、例年、9月下旬ころから増え始め、冬場にピークを迎えます。RSウイルスは、呼吸器感染症の原因のひとつで、年齢を問わずに感染し、かぜの様な症状がみられます。健康な成人においてはあまり心配する必要はありませんが、新生児～乳児期に感染すると重症化し「細気管支炎」を引き起こす場合があります。細気管支炎は、発熱や咳、鼻水など、かぜの症状が始まりますが、次第に咳がひどくなり、「ゼイゼイ」と苦しそうな息になってきます。「ゼイゼイ」が治まっても、痰がからんだ咳がしばらく続きます。症状がひどい場合、入院での治療が必要になることがあります。特に6ヶ月未満の赤ちゃん、未熟児、呼吸器系や循環器系の基礎疾患がある方などは、重症になりやすい傾向があります。患者の咳やくしゃみ、それに触れた手などから感染します。特に小さなお子さんに「かぜ」をうつすことのないよう、注意しましょう。

◆◆◆ 年齢別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点) ◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	6		1		1	1			1						2							
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	5	3	1		1																	
咽頭結膜熱	28	1	6	6	2	5	2	2	2	2												
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	30		1	1	2	2	3	6	2	3	4	1	4		1							
感染性胃腸炎	159	3	22	28	12	14	9	10	9	5	4	3	22	7	11							
水痘	34		1	6	8	7	9	2	1													
手足口病	35		3	6	10	9	1		2				2	2								
伝染性紅斑	35		1	1	4	6	8	4	3	1	2	3	1	1								
突発性発しん	42	3	25	12	1			1														
百日咳	3																					
ヘルパンギーナ	30		1	11	6	2	6			1	1		2									
流行性耳下腺炎	69			3	11	8	12	14	10	2	3	1	3	1	1							
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	16			1			1						2	1	2	3	1	3	2			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1			1																		
マイコプラズマ肺炎	1						1															
クラミジア肺炎	0																					